



◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆



NO. 73

2013.1.1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様、よいお年を迎えられたことと存じます。今年も、皆様のお役に立てられるよう努力してまいりますので、よろしく願致します。

さて、今月のメールマガジンからは、『アレ大修了生☆リレートーク』がスタートしました。毎回、各地でご活躍されている、アレルギー大学修了生が登場し、リレー形式でトークを展開していきます。ぜひご覧ください。

今年もたくさんの情報をお届けしていきますので、ぜひメールマガジンをお楽しみ、ご活用下さい。

==== も く じ =====

- 1、新年のご挨拶 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 理事長 須藤千春
- 2、「アレルギーのおはなし」第6回 あいち小児保健医療総合センター 佐々木溪円
- 3、「アレ大修了生☆リレートーク」第1回 服部政美
- 4、東日本大震災に対する支援活動のご報告 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 理事 栗木成治
- 5、アレルギーっ子のおいしいレシピ 近藤由美
- 6、津島保健所「アレルギーっ子の集い」のご案内
- 7-①、賛助会員からのメッセージ アダプトゲン製薬株式会社
- 7-②、賛助会員からのメッセージ QOLトラベル
- 8、アレルギーっ子フェア詳細決定のお知らせ
- 9、1月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 10、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 11、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 12、メールマガジン会員募集中！無料です。
- 13、募金にご協力ください

=====

- 
- 1、新年のご挨拶 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 理事長 須藤千春
- 

明けまして、おめでとうございます。  
本年も宜しく願いたします。

昨年中は皆様に大変お世話になりました。厚くお礼、感謝申し上げます。  
本ネットワークの活動も年々活発になってきたことを、皆さまと共に喜びたいと思います。

昨年は、年初の事務所の移転、第7期アレルギー大学、インターネット・アレルギー大学の配信、東北地方大震災の被災地でのアレルギー相談事業、住環境調査など様々な事業を行い、成果を上げてきました。

特に被災地の患者さんに対しては、地震発生直後から迅速、大規模な支援を行うことができました。その背景には本ネットワークが、以前から大災害が発生した際のアレルギー患者支援について準備を進めてきたことがあります。現在は被災地の復興支援活動として、専門医によるアレルギー相談と仮設住宅等の環境調査を行っています。前者は現地の「子育ての会」、県立大船渡病院、岩手医大、自治体関係者などの協力を得てほぼ目標を達成することができました。後者の環境調査では、応急仮設住宅を対象として、長期の温湿度の測定とダニを中心としたアレルゲン調査を行っています。まだ調査中ではありますが、被災地と東海地方では室内に棲息するダニ相が大きく異なることが明らかになりました。つまり東海地方ではコナヒョウヒダニが優占している住宅が多いが、被災地ではヤケヒョウヒダニが優占している住宅が多くみられました。その原因については、温湿度の測定結果を加味して明らかにしたいと考えています。

このような本ネットワークの活動は栗木幹事の発案力、計画力、指導力、実行力に大きく負っております。同君に感謝申し上げますと同時に、長く牽引して下さることを願っております。

特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク

理事長

須藤千春

---

2、「アレルギーのおはなし」第六回 ～アレルギーと概日リズム～ あ  
いち小児保健医療総合センター 佐々木溪円

---

みなさま、いかがお過ごしですか。元日に「初日の出」を楽しんだ方もいるかと思いますが、太陽が毎朝昇ってくるのは地球の自転によるものですね。この自転が生み出す昼と夜の明暗変化に適応するために、多くの生物は約24時間周期の体内リズム（概日リズム）をもつように進化しました。近年、この概日リズムは体の正常な働きに影響するだけでなく、アレルギー疾患の症状との関係性を示す研究報告が増えてきています。

まず、はじめに、ヒトの概日リズムの調整方法についてみてみましょう。私たちヒトの体内には多種多様な細胞がありますが、ほぼ全ての細胞で概日リズムに関係する遺伝子が働いています（時計遺伝子とよんでいます）。ヒトの概日リズム周期は24時間より少し長めですので、どこかで地球の自転周期と足並みを揃えないと2つの周期の間に差が生じます。そこで、私たちの体で

は、眼の網膜にある視細胞が脳の神経細胞（視交叉上核という部分）に環境中の明暗に関する情報を送り、地球と体の間に生じたリズムの差を補正しています。視交叉上核の神経細胞は主に自律神経（交感神経、副交感神経）や副腎皮質から分泌されるコルチゾールを介して体内の各組織に生体リズムに関する情報を送り、私たちの体が調和をとって1つの生命体として活動できるように全体の概日リズムを調整しています。このような概日リズムの調整方法を考えると、日常生活で「夜は眠り、朝は決まった時間に起きること」が、生命体として体の各組織をとって活動するために重要であることがわかります。

さて、代表的なアレルギー疾患である気管支喘息発作は夜から早朝に多くみられますが、これには気温変動だけではなく、夜間に副交感神経系が優位になる自律神経のバランスが気管支の収縮、気管分泌物の増加に影響していることが一因と考えられています。また、アレルギー性鼻炎では、くしゃみ、鼻汁、鼻閉などの症状が、朝に強くなることが知られています。

実験的にも、マスト細胞が関与する皮膚発赤などの即時型反応の強さが時間帯によって異なることが知られており、コルチゾール濃度の日内変動による影響と考えられていました。これに関して Nakamura らは、マスト細胞のもつ代表的な時計遺伝子 *Period 2* がコルチゾールに対する反応性に影響し、即時型反応の概日リズムが生まれることを報告しています。さらに、2012年には、概日リズムが障害されるとコルチゾールの日内変動の消失や血中濃度の低下が生じ、遅延型反応である接触性皮膚炎の症状が悪化することも報告されています。この最近報告された2つの研究はいずれもマウスやマウス由来の細胞を用いた研究であり、さらに詳細な研究が継続されているということです。このような地道な基礎研究の臨床応用が可能になれば、アレルギー疾患の予防や治療の幅が広がる可能性がありますね。

参考文献：

Asai M et al. *Curr Biol* 19:1524-1527 (2001)

Bando H et al. *J Neurosci* 27:4359-4365 (2007)

Nakamura Y et al. *J Allergy Clin Immunol* 127:1038-1045 (2011)

Seery JP et al. *Ann Allergy Asthma Immunol* 80:329-332 (1998)

Smolensky MH et al. *Adv Drug Deliv Rev* 59:852-882 (2007)

Takita E et al. *Br J Dermatol* (2012)

DOI:10.1111/j.1365-2133.2012.11176.x

---

3、「アレ大修了生☆リレートーク」第1回 服部政美

---

**アレルギー大学を受講しようか迷っているみなさん、アレルギーの事で困っているようでしたら、参加されると役立つこと間違いなしです！**

はじめまして、服部政美と申します。

私は、委託会社で栄養士をしております。

委託先が幼稚園と言うこともあり、アレルギーの園児が多く、また除去しなくてはいけない食材もさまざまです。

学生の頃、アレルギーの事については詳しく勉強していませんでした。ですので実際に仕事に就いて、いざアレルギーの事を聞かれても、本などを探し独学で勉強してみたものの、様々なアレルギーに応じていかなくてはいけないので、困っていました。

そんな時に、アレルギー大学のポスターを見て、“これは私の為にある！”と思いました。

実際に学んでみると、専門の先生方の授業を聞くことができ、こんなに奥が深いとは思いませんでした。

講義だけではなく調理実習もあり、どうやってアレルギーの食事を作ったらいいか、また除去することで不足してしまう栄養があるので、どのようなものを補ったらいいか、何に代替できるかなど学べ、講座を受けるにつれて今までの不安が取り除かれて行きました。

また、違う業種の方やアレルギー児を持つお母さんとの交流もでき、どんなことで悩んでいるかなど、それぞれの立場での意見を聞くことができる為、実際に保護者の方との面談や現場への対応に役立ちます。

自分自身も、花粉症などのアレルギーの症状があります。花粉症と、フルーツを食べた時に喉が痒かったりしたこととが関係があるとは思っていませんでしたので、とても勉強になりました。今後は、このアレルギー大学でしっかり学んだ事を、仕事だけではなく家族や同じような症状に悩んでいる周りの人たちの、相談にのることができればと思っています。

本当に、アレルギー大学を受講して、よかったと思いました。

---

4、東日本大震災に対する支援活動のご報告      認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク      理事 栗木成治

---

2011年3月11日を新潟で体験してから2日目、宮城県、岩手県、福島県にともかくも支援に入り、支援物資を被災地に運び、現地の状況を把握するのが精いっぱいという状況から被災地を駆け巡る支援活動を経て、3カ月後、ようやく被災地にアレルギー支援ネットワークの被災地事務局（「東北事務局」）を開設することができました。それまでは毎月、1～2週間程度のボランティアを派遣し、その都度、宿泊場所の確保に苦労し、毎日の支援活動は現地責任者がいない状況で、ボランティアの献身的な活動に委ねられるとい

う状況など、被災地で活動するボランティアの支援活動にも支障が生じはじめていました。こうした状況を打開し、被災地のニーズをより早く把握し、毎日計画的に支援活動を継続できるようにするため、被災地の事務局の開設は中・長期的な支援活動を継続するためにも緊急の課題でした。

東北事務局が設置出来たことにより、スタッフの構成は様々でしたが、常時事務局スタッフが滞在し、以来一年半が経過し、今日まで支援活動を継続できた大きな礎となりました。

私、栗木はそれまでも被災地の支援活動にその都度、毎回赴いていましたが、東北事務局が設置されて以降、ほぼ定期的に、毎月1~2週間程度被災地に行けるようになりました。

今年の4月以降は新たな事業である専門医による「アレルギー相談」や仮設団地の支援活動として「住まいの改善指導・調査」を気仙地域ですすめてきました。

「アレルギー相談」は伊藤浩明先生らの報告をご覧頂いた方も多いためと思いますので省略させていただきますが、専門医の先生をはじめ被災地や岩手県医大の小児科の先生方のご協力により大きな成果を生みだしました。

「住まいの改善指導・調査」は目標の20軒を超え30軒の実施となり、9月の基礎調査をはじめとして10月、11月と今回の12月の個別訪問調査となっており、12月は8日から13日という短い期間の被災地訪問調査となりました。

今回12月の調査の主目的は「結露の発生状況を個々の仮設住宅を直接に見たうえで、その改善指導を個別に行い、同時に仮設住宅での共通する課題をより明確にする」ことでした。

仮設住宅の「結露」とそれによる「カビ」や「ダニ」の被害による様々な課題は多かれ少なかれ全ての住宅の皆さんが大変苦勞をしていることが改めて浮き彫りになりました。

冬が始まったばかりというのに、内陸の花巻から被災地まで山越えの雪道が心配でした。

案の定、現地入りする前日に内陸部は1晩に3~40センチも積り、朝夕は路面の凍結が彼方此方で見受けられ、雪道の走行初心者の私はおっかなびっくりの運転しながらの緊張した3時間を超える（普段なら1時間半で着くのですが）、被災地入りでした。

こんな状況もあり、沿岸地域の被災地の雪が心配でしたが、「沿岸地域は暖かいよ」との地元の方々の声通り、雪は全く積っていませんでした。

しかし、仮設住宅のくらしは、予想に反して、多くの家庭で、毎日「結露」している個所のふき取りが朝の忙しい時間の日課となっていました。一方、ごく少数の家庭では「結露」のふき取りをするという苦勞を味わうことなく過ごしている家庭も見受けられました。個の際立った違いは、仮設住宅の構造的な違いと暖房器具と換気の使い方によるものであることも浮き彫りになりました（詳しくは来年の温湿度計などの調査結果を踏まえ報告する予定です）。3回なかには4回の個別の家庭訪問ということもあり、「ゆっくりしていきな！」と声をかけられ1時間以上もお話を聞くことや様々な温かい言葉

に励まされることなどもしばしばでした。

中には、玄関の天井が風呂場の天井以上に結露が激しい家もあり、その原因も直ぐにはわからない難問にもぶつかりました。

また、結露によるカビの再発生も見受けられ、アレルギーをはじめ呼吸器疾患を持つ患者がいる家庭では仮設住宅に住み続けるには様々な困難や課題があると改めて感じた調査となりました。

それにしても被災者の方々の明るい生き様は、私に大きな励ましを与えてくださいました。

被災者の方の中には「どうして助かったかではなく、どうして助からなかったかの調査も必要」と聞き取り調査を始めている方もおられ、地元の人々の力強い姿に改めて感動しながら、「次はいつ来れるのか、これが最後になるかも」と自問自答しながらの今回の被災地訪問となりました。

---

## 5、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「春の七草がゆ」 近藤由美

---

1月7日は七草の日ですね。

七草粥は、正月七日に無病息災を祈って、春の七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）を入れて炊いた粥で、お正月に疲れた胃腸を整えるために食べると言われています。

この七草粥なら、卵・乳・小麦の食物アレルギーのある子も、みんな一緒に食べられますね。ぜひご覧ください。

**レシピはこちらから**

---

## 6、津島保健所「アレルギーっ子の集い」のご案内

---

食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・ぜん息などアレルギーのご心配はありませんか？

この度、津島保健所において、アレルギーっ子の集まりを企画いたしました。日常生活や保育園・学校生活、治療について気軽に集まって話をしませんか。悩みや不安を話すことで少しでも心が軽くなると思います。

アレルギーかどうかまだはっきりしないけどちょっと心配…という方も歓迎です。

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークの先輩ママからの体験談、アドバイスをいただきます。ぜひご参加ください。

【日時】 平成 25 年 1 月 17 日（木） 午前 10 時～11 時半

【場所】 愛知県津島保健所 2 階大会議室  
津島市橋町 4 丁目 50-2 (0567) 26-4137

【内容】 交流会

【お申込み方法】

お電話にて、愛知県津島保健所 健康支援課 地域保健グループ  
までお申し込みください。

<お問い合わせ・申し込み先>

愛知県津島保健所 けんこうしえんか 健康支援課 ちいきほけん 地域保健グループ  
電話 (0567)26-4137

---

7-①、賛助会員からのメッセージ アダプトゲン製薬株式会社

---

**ヒアルロン酸吸収用食品「ECM・E」のアトピー性皮膚炎への有効性  
試験結果のご報告**

はじめまして。アダプトゲン製薬と申します。  
弊社は、健康食品、ドリンク、化粧品などの受託製造を行っている企業です。

2012年2月に開催されたアレルギーっ子フェアでは、アトピー性皮膚炎の患者様を対象としたヒアルロン酸吸収用食品「ECM・E」の食品臨床試験の被験者募集をさせて頂きました。

おかげさまで試験は無事終了致しました。  
改めてご協力いただいた皆様にお礼と試験結果のご報告を申し上げます。

弊社では臨床試験を実施するにあたり、治験審査委員会の審査承認を経て、2011年12月から2012年8月まで、4歳～44歳のアトピー性皮膚炎の治療を受けている患者様81名を対象に臨床試験を実施致しました。  
試験の結果、ヒアルロン酸吸収用食品「ECM・E」を治療に併用することで、より効果的な治療効果が得られることがわかりました。  
また、安全性においてもECM・Eが原因となった副作用、併用薬との相互作用、合併症などはありませんでした。

◆アトピー性皮膚炎の皮膚重症度の改善について

ECM・E投与群： 82.8%が改善  
プラセボ（疑似食品）投与群： 37.5%が改善

◆試験終了後のアンケート調査の結果

- ・肌の潤いがよくなった
  - ・生理痛の軽減
  - ・ドライアイの症状が軽減
  - ・擦り傷、切り傷の治りが早くなった
- など

アダプトゲン製薬のホームページはこちらから

<http://www.adaptgen.co.jp/>

7-②、賛助会員からのメッセージ QOLトラベル

**モニターツアーへのご参画の依頼  
食物アレルギー対応旅行 in 沖縄本島南城市**

皆様こんにちは！

QOLトラベルより、各地の患者会の皆様へご協力のお願いです。

QOLトラベルは、現在、沖縄本島の南城市で、地域事業者・医療機関・行政と共に、食物アレルギー対応旅行受入の体制作りにも携わっています（沖縄県の公的支援事業）。将来的に全国各地にアレルギー対応可能な旅行先を作っていくその第2弾として、同じ沖縄の久米島に続く取り組みです。

現在、この事業では、各患者会を代表して、来年2月のモニターツアーにご参加いただけるアレルギー児ご家族を募集しております！

※各患者会からひと家族、全体で8家族を想定しております。

※モニターツアーにはアレルギー専門医が同行致します。

QOLトラベル、南城市の事業者共々、全国のアレルギー児家族の“旅の夢”を叶えるべく、皆様の意見を反映しながら安心安全な旅行をつくっていききたいと思っております。

ぜひ、皆様のご参加の協力を賜りたく、お願い申し上げます。

お問合せ&お申し込みはこちら

【東京都知事登録旅行業 3-6537 号】

QOLトラベル（キューオーエルトラベル）

TEL1：03-3437-1592 TEL2：080-2119-4606

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-11-16 YSビル 3F

旅行業務取扱管理者 栩野 浩（とちの ひろし）

新膳 章子（しんぜん あきこ）

QOLトラベル Facebook ページ：<https://www.facebook.com/qoltravel>

8、アレルギーっ子フェア詳細決定のお知らせ

来る2013年2月2日（土）3日（日）アレルギーっ子のフェアの詳細が決定しました。



様々な講演・企画をご用意しておりますので、ぜひご家族やご友人の皆さまをお誘い合わせの上ご参加ください。

なお、講演会に参加される皆様には資料をご用意しますので事前お申込のご協力をお願い致します。皆様のお申込をお待ちしております。

---

## 9、1月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

---

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

1月は

9日(水) 西尾アレルギーの会	アレツ子元気	西尾市総合福祉センター4階 洗心庵
9日(水) あま市アレルギーの会		美和公民館 和室1
10日(木) 守山アレルギーの会		守山区社会福祉協議会 研修室
11日(金) アレルギー支援ネットワーク	事務所	アレルギー支援ネットワーク
15日(火) 天白アレルギーの会		天白区在住サービスセンター・ボランティア室
17日(木) 豊橋アレルギーっ子の会		豊橋会館「さくらピア」児童保育室
22日(火) 名古屋南部アレルギーの会		コープ大高店 集会所
24日(木) 名東区アレルギーの会		森の集会所
25日(金) 緑アレルギーの会		緑保健所2階健康増進室
26日(土) 刈谷アレルギー児の親の会		刈谷市生涯学習センター
29日(火) 日進アレルギーの会		日進市にぎわい交流館

春日井アレルギーの会 お休み

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>  
皆様のご参加をお待ちしております。

---

## 10、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

---

アレルギー支援ネットワークは震災を通じ直面した課題克服と今後の災害発生に向けて、「アレルギーっ子の防災セット」の普及活動を行っております。

緊急事態でも迅速かつ的確にアレルギー支援活動を行うための「アレルギーっ子の防災セット」は、「登録シリコンバンド」「緊急連絡カード」「安否確認システム」の3点がセットになっています。

お申込みはアレルギー支援ネットワークのHPから「安否確認システム」に登録することで、1患者につき「登録番号入りシリコンバンド1本」と「緊急連絡カード3枚」が郵送されます。登録対象者は、アレルギー患者本人または保護者の方です。アレルギー支援ネットワークや各患者会などの会員以外の方も登録可能で、一切費用はかかりません。ぜひ、ご登録をご検討下さい。

また、登録の際にご注意いただきたい点があります。下記の注意点をご確認の上ご登録下さい。

① 迷惑メールフィルター設定をしていませんか。

仮登録をされた後、本登録していただくためのホームページのリンクを仮登録で入力していただいたメールアドレスに送信していますが、迷惑メールフィルターによって受信不能（弾かれる）になっている方がたくさんいらっしゃいます。携帯端末だけではなく、yahooやGmailなどのフリーメール、プロバイダ提供のメールフィルターでも起きています。

お手数をおかけしますが、迷惑メールフィルターの設定を今一度ご確認をお願いいたします。

PCメールの受信（システムからの自動・一斉送信を受信）、なりすましメール（メーリングリストからのメールを受信）の設定をお願いいたします。

その際のアドレス（ドメイン）は、@alle-sien.sakura.ne.jp と、@alle-res.com です。

② 登録の際、「ルート認証が確認できないため、接続できません」等の警告が表示され、接続できなくなる事があります。

ご登録の際に、i-modeやezweb、Y!ケータイなどで接続すると表示が出てしまい接続できない場合があります。これは、暗号化通信で中継してくれるサーバがパソコン用（一部のドコモの機種に対応）の回線にしか対応できていないために発生しています。

これらを避けるため、皆様の登録の際には、「フルブラウザ」「PCサイトビューア」「PCサイトブラウザ」などのパソコン用のホームページ閲

覧機能をお使いいただき、「ルート認証が確認できません」と出ても無視して接続してください。

それでも接続できない場合、登録や情報更新の時は、申し訳ありませんがパソコンをご利用ください。

また、すでに登録されている方で、パスワード設定をされていない方（2011年8月末から接続されていない方）は、防災ネットワークのトップページ左下の「パスワードを忘れた方は、こちら」の「こちら」をクリックしていただき、パスワードを設定してください。

新システムからご自身で登録情報の確認や更新ができるようになります。

なお、新システムはまだ改修途中で、登録内容の入力方法の簡素化や医療機関・協力組織との連動性の向上などを進めています。

皆様には、まだご迷惑をおかけするかもしれませんがよろしくお願いいたします。

---

### 11、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

---

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があると言う皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

---

### 12、メールマガジン会員募集中！無料です。

---

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしています。あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！  
[info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)までお気軽にどうぞ。

---

### 13、募金にご協力ください

---

※認定NPO法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※  
「giveone」

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」

<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

-----  
=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは [asn-mailmagazine@alle-net.com](mailto:asn-mailmagazine@alle-net.com) (メルマガ編集部)までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 [asn-mailmagazine@alle-net.com](mailto:asn-mailmagazine@alle-net.com) までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----  
★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6(3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : [info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)

☆◆-----